

議第 1553号

加賀都市計画道路の変更（石川県決定）

都市計画道路中 3・4・1号大聖寺駅畑線を3・4・1号大聖寺駅鍛冶町線に名称を改め、3・4・41号片山津インター山代線、3・5・28号常盤線を次のように変更する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考	
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造		
幹線街路	3・4・1	大聖寺駅鍛冶町線	加賀市大聖寺南町ホ字	加賀市大聖寺鍛冶町	加賀市大聖寺一本橋町	約 430m	地表式	2車線	18m	幹線街路と平面交差3箇所		
	構造形式の内訳		なお、大聖寺駅前に約 5,000 m ² の駅前広場を設ける。									
	3・4・41	片山津インター山代線	加賀市伊切町い字	加賀市山代温泉20字	加賀市潮津町作見町加茂町	約 10,030m	地表式	2車線	16m	JR北陸本線と立体交差幹線街路と平面交差8箇所		
	車線数の内訳		2車線			約 9,340						
			4車線			約 690						
3・5・28	常盤線	加賀市山代温泉22字	加賀市別所町山林イ字先	加賀市山代温泉山背台一丁目山代温泉桔梗丘三丁目	約 3,690m	地表式	2車線	12m	幹線街路と平面交差6箇所			

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理由

加賀都市計画道路について、近年の社会情勢やまちづくりの方向性の変化に伴い、今後の道路整備を効率的に進めるため、交通処理や防災機能などの観点から検証し、9路線 23,820mの見直しを行うものである。そのうち、県道区間を有する3路線 17,010mについて変更を行いたい。

具体的には、3・4・1号大聖寺駅畑線は、大聖寺地区の中心部を南北に縦断する路線であり、現在、当路線の周辺には特色ある町屋形式の街並みが形成され、町屋を活かしたまちづくりによる賑わい創出を図っている。また、交通や防災の面では周辺の市道等で機能を代替できる。したがって、街路整備による街並みの喪失を避けるため、加賀市大聖寺鍛冶町地内から加賀市大聖寺上福田町地内の約 1,160mの区間を廃止する。あわせて名称を3・4・1号大聖寺駅畑線から3・4・1号大聖寺駅鍛冶町線に変更する。併せて、車線数を2車線に決定する。

3・4・41号片山津インター山代線は、北陸自動車道片山津インターチェンジと片山津温泉、山代温泉を結ぶ路線であるが、片山津インターチェンジから源平橋詰交差点までは(主)小松加賀線及

び(主)山中伊切線が道路ネットワークの代替機能を有していることから、(都)片山津インター山代線中 加賀市伊切町地内から加賀市新保町地内の約 1,480m の区間を、(主)小松加賀線中 加賀市伊切町地内の約 1,090m 及び(主)山中伊切線中 加賀市伊切町から新保町地内までの約 1,200m の区間にルート変更し、これに伴い、区域延長を見直しする。

3・5・28 号常磐線は、山代地区と山中地区を結ぶ路線であり、計画路線に並行する市道 B 第 321 号線が道路ネットワークの代替機能を有していることから、加賀市山代温泉地内の約 340m の区間を廃止する。また、加賀市別所町地内は地形が急峻であり、地形上、沿道利用が見込めないことから、両側歩道を片側歩道に変更し、これに伴い、幅員を 12.0m から 9.5m に変更する。併せて、車線数を 2 車線に決定する。